

人材育成事業は

〈太田議員〉

きらめく人材育成研修業務委託料減額理由は、研修先がなぜフランスになったのか。選考過程と今後の改善点は。

〈企画観光課長〉

年代によって補助率が異なり、委託料を107万4千円減額。フランスへの研修で7名が参加。研修先選定は、旅行会社からの提案を審査。今回選定された大きな理由は、農家が6次産業化の一環で、グループを作り一つの企業体として活動している事例等があり、各審査員の評点が高く決定した。研修グループの報告等はこれからまとめられるので、内容を精査し、平成30年度以降の研修内容がより充実したものになるように検討する。



地元農家の説明を受ける研修生

中松牧野補償費への対応は

〈山室議員〉

補償費1731万円の説明を。

〈総務課長〉

中松牧野の入会権売却代金、その地元配分が裁判になるなど関係区同士で調整がつかず未配分のままだ。29年に裁判が却下となり、村に調整要請があり、調整案を示した。村が3割、地元7割。その7割分を3行政区で均等配分。村との覚書がある中松1区は、差額分を村費で補てんする内容。

〈村長〉

各区の利権主張が強く、調整は困難だ。この調整案が流れると傷口が更に広がると判断した。

〈山室議員〉

村が500万円程度の損失になる。二度とこのような事がないように要望する。

〈今村竜喜議員〉

管理実態が明確になっていけば起きない問題だ。それに対して、村が村費で対応するのは納得できない。

〈太田議員〉

裁判結果を踏まえ、村が権利を新たに認める事で、悪い前例を作る事にならないか心配だ。

〈村長〉

今回きりで終わるよう、今後、条例の整備等も行いたい。

栃木立野線、防犯灯の設置と除雪対策は

〈笠野議員〉

栃木立野線、道路復旧したが、防犯灯の設置計画と除雪対策は。

〈総務課長〉

8月の開通以来、月1万台程度の通行量がある。橋梁区間については復興事務所が復旧工事を継続されており、全体的な道路照明灯については、関係機関と協議する。北向山原生林の周囲については野生動物の生態系も関係するので、環境省と協議することになる。

〈建設課審議員〉

長陽大橋ルートの積雪対策、今年に関しては、国・県・村3者で、協議を重ねこの区間を重点区間と位置付けた。降雪確率が50%以上になった場合は、3者の職員、関係業者が現場に詰め、3時間に1回塩化カルシウム散布を実施し、通行止めが生じないよう万全の対策をとる。

納税組合の方向性は

〈今村竜喜議員〉

定期監査の報告書にもあったが、納税組合の今後の方向性は。

〈税務課長〉

監査委員からも指摘を受けた。今後は区長会に諮り、1月に各納税組合長の意見を聞き、取りまとめた上で検討したい。

その他の質問

太田議員

- ・ 固定資産税等、収収の回復状況は
- ・ 自宅再建補助金の条件見直しを
- ・ 現時点での起債、基金の残高は

橋本議員

- ・ 防災がけ崩れ対策工事は
- ・ 黒川地区のアパート活用は
- ・ 旧立野小、防災対策工事の自身は
- ・ 下野山田仮設団地は残せるのか
- ・ 下野地区に公園設置を

桐原議員

- ・ 災害弔慰金補助返還は

工藤議員

- ・ 学童保育支援員に情報交換の場を

山室議員

- ・ 30年度からの国民健康保険広域化、保険税の予測と基金残高は

笠野議員

- ・ 復旧工事における下請け業者への未払い問題、着手の遅れ等
- ・ 庁舎書類棚等の耐震化は、庁舎内に喫煙所設置を

丸野議員

- ・ 災害公営住宅にコミュニティスペース確保を

執行部からの説明

- ・ 空き公共施設、利活用検討委員会からの中間報告
- ・ 第3セクターの経営状況報告
- ・ 空き家バンクの実績報告
- ・ 仮設住宅の現状、災害公営住宅の建設計画